

新型コロナウイルス感染症の対応状況について

1. 経緯

- 中華人民共和国湖北省武漢市において、昨年12月以降、新型コロナウイルスに関連した肺炎の発生が複数報告された。
- 武漢市及び近隣6市（鄂州市、仙桃市、枝江市、潜江市、黄冈市、赤壁市）は各市の公共交通機関遮断及び駅・空港の閉鎖等を発表。
- 1月24日未明に、世界保健機関（WHO）は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC※：Public Health Emergency of International Concern）」には該当しないと発表した。
- 1月28日、国は、新型コロナウイルス感染症を感染症法に基づく「指定感染症」と検疫法の「検疫感染症」に指定する政令が閣議決定され、2月1日から施行された。
- 1月31日未明に、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC：Public Health Emergency of International Concern）」に該当すると発表した。

（参考） PHEICとは

WHOが定める国際保健規則（IHR）における次のような事態のこと

- (1) 疾病の国際的拡大により、他国に公衆の保健上の危険をもたらすと認められる事態
- (2) 緊急に国際的対策の調整が必要な事態

2. コロナウイルスとは

- 人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスで、人に感染症を引き起こすものはこれまで6種類が知られている。
- 深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがあるSARS-CoV（重症急性呼吸器症候群コロナウイルス）とMERS-CoV（中東呼吸器症候群コロナウイルス）以外は、感染しても通常の風邪などの重度でない症状にとどまる。

3. 新型コロナウイルスについて

- 症状：発熱、全身倦怠感、乾いた咳。入院患者では呼吸困難も多い。
また、症状が無い人の感染が国内でも確認された。
- 潜伏期間：現在のところ不明。（最大14日間と考えられている。）
MERSは2～14日、SARSは2～10日
- 感染経路：国内でもヒトからヒトへの感染が認められた。
風邪の原因となるコロナウイルスは、飛沫感染、接触感染する。
SARSはさらに便にも注意が必要である。
- 治療法：特定の治療法はなく、対症療法。
- 予防法：有効なワクチンなし。咳エチケット、手洗いなど。

4. 患者の発生状況

(1) 日本 次ページのとおり

(2) 中国 20,476名、死亡者426名

(3) その他の国（22か国） 136名、死亡 1名（フィリピン）

タイ、シンガポール、マレーシア、韓国、ベトナム、カンボジア、ネパール、スリランカ、インド、フィリピン、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、フィンランド、スペイン、ロシア、アメリカ、カナダ、オーストラリア、アラブ首長国連邦、スウェーデン

※（2）、（3）は新浪新聞（中国メディア）の発表資料から作成（2月4日16時時点）

国内の発生状況について

	確定日	年代	性別	居住地
1	1月15日	30代	男	神奈川県
2	1月24日	40代	男	中国 (武漢市)
3	1月25日	30代	女	中国 (武漢市)
4	1月26日	40代	男	中国 (武漢市)
5	1月28日	40代	男	中国 (武漢市)
6	1月28日	60代	男	奈良県
7	1月28日	40代	女	中国 (武漢市)
8	1月29日	40代	女	大阪府
9	1月30日	50代	男	中国 (武漢市)
10	1月30日	50代	男	三重県
11	1月30日	30代	女	中国 (湖南省)
12	1月30日	20代	女	京都府
13	1月31日	20代	女	千葉県
14	2月1日	40代	男	調査中
15	2月1日	40代	男	中国
16	2月1日	40代	男	中国 (武漢市)

※ほかに4名の無症状病原体保有者

令和2年2月3日時点

新型コロナウイルス感染症の国の対応について

日 付	内 容
令和元年12月以降	中華人民共和国湖北省武漢市において、原因不明の肺炎の患者が複数報告（海鮮市場（華南海鮮城）と関連した症例が多い）
令和2年1月6日	厚生労働省結核感染症課から自治体へ非定型肺炎の集団発生に関する注意喚起の事務連絡
令和2年1月10日	厚生労働省結核感染症課が、原因病原体が新種のコロナウイルスである可能性を示唆
令和2年1月12日	原因不明肺炎と報告された59名のうち、41名が新型コロナウイルスによる肺炎と診断
令和2年1月16日	国内で初めて新型コロナウイルス関連肺炎患者が確認
令和2年1月17日	厚生労働省結核感染症課から自治体へ新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者の発生に係る注意喚起の事務連絡
令和2年1月24日	国内2例目となる新型コロナウイルス関連肺炎患者を確認 世界保健機関（WHO）は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC: Public Health Emergency of International Concern）」には該当しないと発表
令和2年1月25日	国内3例目となる新型コロナウイルス関連肺炎患者を確認
令和2年1月26日	国内4例目となる新型コロナウイルス関連肺炎患者を確認
令和2年1月28日	新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令公布
令和2年1月28日	国内5, 6※, 7例目となる新型コロナウイルス関連肺炎患者を確認 ※6例目は武漢市の滞在歴はなく、武漢市からのツアー客との接触あり
令和2年1月29日	国内8例目となる新型コロナウイルス関連肺炎患者を確認 ※6例目と同じバスの添乗員
令和2年1月30日	国内9※, 10, 11, 12例目となる新型コロナウイルス関連肺炎患者、2名※の無症状病原体保有者を確認 ※1月29日に、武漢市から帰国（政府チャーター機利用） 政府が対策本部を設置
令和2年1月31日	世界保健機関（WHO）が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC: Public Health Emergency of International Concern）」に該当すると発表
令和2年2月1日	新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令施行

新型コロナウイルス感染症の本市の対応について

日 付	内 容
令和2年	
1月 8日	市民へ患者の発生に関する情報提供、注意喚起（市ホームページ、SNS）
1月 9日	医療機関等へ情報提供・注意喚起 （院内感染対策の徹底、疑い患者の速やかな報告）
1月20日	医療機関等へ情報提供・注意喚起（2回目） （院内感染対策の徹底、疑い患者の速やかな報告）
1月24日	「新型コロナウイルス関連肺炎に係る庁内総務担当課長連絡会議」を開催し、関係各局区室で対等の情報を共有 市内旅館業営業所等 177 施設（民泊 2 施設を含む）に対し、感染拡大防止の協力依頼
1月27日	「新型コロナウイルス関連肺炎に関する北九州市感染症対策連絡会」開催 市医師会や市薬剤師会、市内 16 医療機関等と情報共有及び意見交換。 主要ホテルの情報収集を行うとともに、ホテル関係者が集まる会合で注意喚起を実施。
1月29日	医療機関等へ情報提供・注意喚起（3回目） （指定感染症と定める政令等の通知、院内感染対策の徹底、疑い患者の速やかな報告） 疑い患者の検査体制の整備を完了
1月30日	「北九州市新型コロナウイルス感染症警戒本部」設置 「北九州市新型コロナウイルス専用ダイヤル」に関するホームページ開設（4か国語対応のチラシを掲載）
1月31日	「第1回北九州市新型コロナウイルス感染症警戒本部連絡会議」開催 市内旅館業営業所等 177 施設（民泊 2 施設を含む）、市内大学や専門学校に対し、専用ダイヤル設置のお知らせ 中小企業・小規模事業所の経営支援として、「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を設置 バス事業者、ランドオペレーター、観光施設等に対し、注意喚起の文書を発出済
2月 1日	新型コロナウイルス専用ダイヤル受付開始（24時間対応） ※外国語での相談も、北九州国際交流協会などとの連携により対応
今後の予定	区役所等へ消毒用アルコールの配布 2月15日号市政だよりにより専用ダイヤル設置のお知らせ掲載

市民の皆様へ

～注意情報～

中国で新型コロナウイルス感染症 が発生しています

新型コロナウイルス感染症の発生状況

中華人民共和国湖北省武漢市において、2019年12月以降、新型コロナウイルス感染症の患者が複数報告され、中国国内で感染が拡大しています。

2020年1月16日以降、日本においても患者の報告が寄せられています。

市民の皆様へ

現在、国内で新型コロナウイルス感染症の流行が認められている状況ではありません。風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に手洗いなど通常の感染症対策やマスク着用などの「咳エチケット」に努めていただくようお願いします。

医療機関を受診する際には

武漢市含む湖北省から帰国・入国された方や患者と接触された方で、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用するなどし、事前に保健所へ連絡したうえで、医療機関を受診していただきますよう、御協力をお願いします。

また、医療機関の受診にあっては、武漢市含む湖北省の滞在歴があることまたは武漢市含む湖北省に滞在歴がある方と接触したことを事前に申し出てください。

「新型コロナウイルス」についてのご相談は…

【北九州市 新型コロナウイルス専用ダイヤル】

093-522-8745

(24時間受付)

新型コロナウイルス感染症の疑い例

下記の全てを満たす方

- 37.5℃以上の発熱 および 咳や呼吸困難などの呼吸器症状がある。
- 発症から2週間以内に、『武漢市を含む湖北省を訪問した』または『武漢市を含む湖北省への渡航歴があり、発熱かつ呼吸器症状を有する人と接触した』

～ 感染予防策について ～

新型コロナウイルス感染症の感染経路として、現時点では、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つが考えられます。「手洗い」や「マスクの着用」を含む「咳エチケット」などの通常の感染症対策に努めていただきますようお願いします。

➤ 感染経路

飛沫感染



感染した人の咳やくしゃみなどの飛沫と一緒に放出されたウイルスを口や鼻から吸いこみ感染

接触感染



ウイルスが付着したドアノブ等を触れた手で、鼻や口、目などを触って感染

➤ 感染防止のポイント

手洗い

正しい手の洗い方

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

咳エチケット

咳やくしゃみをするときは、他の人にうつさないようにマスクを着用する、または、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。



マスクの着用

<正しいマスクの着用>

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかけ
- 隙間がないよう鼻まで覆う

イラスト出典：政府広報オンライン